

平城東中学校区

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

▶平城東中学校区 地域教育協議会

<p>地域・子どもの現状</p>	<p>地域の住民や各校園の保護者は教育に対する関心は高く、学校園教育に協力的である。また、本協議会の事業や地域行事に協力・参加いただいている。奈良市の中では、比較的新しい地域であるが、地域としてのまとまりや協力体制は確立されている。子どもたちは、概ね生活習慣が確立しているが、地域とのつながりは希薄な傾向がある。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>本校区の子どもたちに「地域の歴史・自然・文化・伝統」など、地域のすばらしさを体験・実感させ、今後、地域の一員として、地域に貢献しながら生きていこうとする意欲をもつように、多岐にわたる事業を展開していきたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>年々「歴史ウォーク」の地域の関心度も高くなってきている。コロナ禍の影響を受け、取組方法や広報について再構築する必要がある。また、高校再編にともない奈良高校との新しい取組を考えていく。今年度も幼小中高の連携を深め、子どもたちが自信をもち活動できる取組を企画運営をしていく。</p>



▶平城東中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校の目指す学校像の中に、「生徒にとって生き生きと学び、登校するのが楽しみな学校」「保護者にとって子どもの成長が見え、安心して任せられる学校」「地域にとって明るく開かれ親しみの持てる学校」がある。様々な行事の取組に対する地域からの評価は高い。地域関連事業への参加意識は薄いが、多くの教職員や生徒が積極的に本事業に参加するための手だてを講じてきたため、改善されつつある。保護者は教育については関心が高く、学校に協力的であり、行事等へも多数参観される。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>本校生徒は、授業に真剣に取り組み、行事等には熱心に取り組むことができる。しかし、自己肯定感が若干低く、自尊感情育成の取組が必要である。そのために地域との連携を深め、文化発表会・体育大会等の行事を支援することにより、自己有用感の向上を目指したい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>地域の人材活用を目指し、地域の方を学校に招聘し、講演会を実施する。また、地域のこども園や小学校、高校との交流を深める。そのことを通して、地域のすばらしさや地域で生きていこうという意識を生徒たちにもたせたい。そして、この取組を地域に公開し、地域と学校との繋がりを深めていきたい。</p>



▶朱雀小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校の子どもたちは、恵まれた環境に育ち、幼い頃から習い事や、塾などに通い知識が豊富な子どもが多い。同時におとなたちも豊富な知識や様々な職業経験を持った方が多く、教育熱心であり、子どもに対しての関心度も高い。しかし、その豊富な知識や経験を子どもたちのために活かす場がまだまだ少ない。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>低学年においては、状況に応じた気持ちの良い挨拶ができる力、中学年においては、相手の話を思いやりを持って正しく聞く力、高学年においては、自分の考えをまとめ周囲に伝える力を伸ばし、コミュニケーション能力を育てることに注力したい。さらに、6年生に関しては、翌年度からの新生活に子どもたちが自信をもってスムーズに移行できるように、基礎学力や基本的な学習、習慣、挨拶等基本的な生活習慣を継続する力を再確認し、身につけさせたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>全ての事業において、地域住民との交流を通してコミュニケーション能力の向上を目指す。また、中学校区内の学校園とともに地域全体で行う「防災教育活動」は、地域のつながりを体験的に理解できる機会とし、「学習支援事業」では基礎的な学力、学習方法の確認をできる場としたい。</p>



▶佐保台小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校は、奈良市の最北部に位置し、1年生を除く学年がすべて単学級の小規模校である。閑静な住宅街の中にあり保護者はとても教育熱心である。また地域の教育に対する関心も高く協力的である。学校は、なかまづくりを通して、自ら考えた事や思いを伝え、互いに共感できる子どもの育成をめざしている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>様々な感動体験を通して、児童一人一人に豊かな心や自己肯定感・自尊感情を育み、なかまとともに社会の変化にすすんで対応できる能力の育成</p>
<p>取組内容</p>	<p>環境美化・読書活動・ICT学習・福祉体験・体力作り等の様々な体験活動を通して、子どもたちに感動や喜びを味わわせ、豊かな心を養う。また小規模校の強みとして全校が一つになれる「なかよし班活動」を多く取り入れる。さらに、地域の方々やゲストティーチャーからの学びなどからキャリア学習の基盤を培い、児童の自己肯定感・自尊感情を育み、「人・もの・こと」とのふれあいや関係を大事にし、社会の変化に進んで対応できる能力を育成したい。</p>



▶左京小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>子どもたちは明るく純粋で、好奇心旺盛である。また、学習に対しても真摯に取り組み、学校行事等にも積極的に参加し、大きな力を発揮する。しかし、多様な価値観のもとで育った子が多く、他者とともに生活する力に課題がある子どもが多い。学校では互いのコミュニケーション能力を高めることを重視し、規範意識や自尊感情の向上にも努めている。それらの活動の過程で、地域の方々と交流して身につく力は大きいと考えている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事に興味・関心を持ち、積極的に取り組み学ぼうとする力。 ・自己を大切にするとともに、他者を敬いともに生きていこうとする力。 ・地域を愛し、環境を大切にするために行動していこうとする力。
<p>取組内容</p>	<p>地域の方々との体験活動、地域の方々から学ぶ活動、地域の方々を学校へ招く活動等を実施し、多くの人たちとの触れ合いを通して、相互の理解を深め、絆を強められるようにしていく。</p> 

▶左京こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>園児は明るく朗らかで、何事にも興味・関心をもち、進んで様々な環境に関わろうとする姿が見られる。左京地区と佐保台地区が幼稚園を統合再編し、認定こども園として、現在に至る。3歳児から5歳児の子どもが多方面から通園している。地域・保護者の方々の関心も強く、協力的で、こども園としての機能の充実に対する期待も感じられる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>地域の様々な教育力を積極的に活用し、豊かな体験を通して、自信や自己有用感をもったり、人と触れ合う楽しさや感謝の気持ちを持てるようにしたりする力を伸ばしたい。</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出かけたり地域の方とふれあったりする中で、地域のことをよく知る機会にしたり、地域のことが好きになる機会にしたりする。 ・地域の方と一緒に活動するなかで、関りやつながりを深められるようにし、人と触れ合う心地よさや感謝の気持ちをもったり自己有用感をもったりできるようにする。 ・地域の方をゲストティーチャーとして招き、専門性に触れられる機会をもち、豊かな体験ができるようにする。 

▶朱雀こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>園の近くには、四季折々の変化が感じられる公園があり、令和3年には新たに『朱雀ふれあい公園』となり、地域の方と共に園児が開園式に参加し、遠足や散歩で遊びにも行かせていただくことで、地域を身近に感じることができている。近年、核家族化が進み、多様な人とふれあう機会が減っていることや、多方面から通園され長時間保育の利用が多いことから、園が終わってから戸外で遊ぶ機会の減少が懸念される。園として、地域の方と連携を図りながら、様々な人との触れ合いの場や体を動かすなど様々な感動体験ができる場の確保に努めていきたいと考える。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とのふれあいの機会を確保し、地域の方の温かいまなざしやふれあいを通して、自尊感情や自己肯定感を育み、子どもたちの活動意欲につなげたい。 ・地域の方と連携し、地域の方と子どもたちとのふれあいの中で、何だろうどうなっているんだろうという好奇心や探求心を育て、自ら関わろうとする姿につなげたい。 ・体験の中で様々な人とふれあい、自尊感情・自己肯定感や豊かな心を育んでいきたい。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の協力を得て、様々な感動体験の機会を設ける。 ・地域の方と触れ合い、温かいまなざしの中で、人と関わる心地よさを味わったり自分の思いを伝えたりできるようにする。 ・地域の方と一緒に、栽培活動や環境整備などを行い、一緒に育てる楽しさや生活の場を整える心地よさを味わえるようにする。 ・活動内容や大切にしていることを地域保護者に発信し、知っていただけるようにする。

